

令和6年度（現代の国語）シラバス

教科	国語	科目	現代の国語		
単位数	2	学年	1	類型	共通
教科書	高等学校 現代の国語 第一学習社		副教材	グランステップ現代文1 (尚文出版)	
学習目標	言語活動を通して、ものの見方・考え方を的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する態度を養う。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1学期	「本当の自分」幻想(平野啓一郎) 「水の東西」(山崎正和) 「羅生門」(芥川龍之介)	<ul style="list-style-type: none"> ・主題に至る構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えることができる。 ・東西の対比関係を読み取り、日本文化に見られる特徴を論じる叙述の方法を把握することができる。 ・登場人物の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の論理が下人に与えた影響を読み取ることができる。
2学期	「無彩の色」(港千尋) 「『文化』としての科学」(池内了) 「夢十夜」(夏目漱石) 「現代の『世論操作』(林香里)」	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が論拠としてあげる事例を把握し、構成、論理の展開を的確に捉えることができる。 ・自分の考えが的確に伝わるように、根拠を示し説明の仕方を工夫することができる。 ・情報操作の具体例から筆者が提起する課題を理解し、問題意識を持つことができる。
3学期	「不均等な時間」(内山節) 「城の崎にて」(志賀直哉)	<ul style="list-style-type: none"> ・具体例から一般論への展開、対比の構造を手がかりとして、筆者の主張を理解することができる。 ・事象と主人公の心境から作中に示された死生観について考えを深めることができる。

評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	言語活動を通して、言葉の読み、書き、意味の理解等、実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト
思考・判断・表現	言語活動を通して、論理的の考える力や深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えや思いをひろげたり深めたりしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・確認テスト ・課題の解答 ・発表の内容
主体的に学習に取り組む態度	言語活動を通して、積極的に社会に関わり、考えや思いを広げ深めて、積極的に表現しようとしている。 読書に親しむことで自己を向上させ、言葉の担い手としての自覚をもって、言葉を効果的に使おうとしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業に取り組む態度 ・授業中の発表の内容 ・ノートや課題等における記述 ・課題等の取組状況